

# 直播稲作情報

## 第2号

平成21年5月15日

庄内総合支庁農業技術普及課 (TEL 0235-64-2103)

### 苗立ち数に合わせて適切な対応を！

#### 1 苗立ち数に合わせた対応を

- ・適正な生育のためには㎡当たり 80～120 本（条播ではm当たり 24～36 本）の苗立ち数の確保が基準となります。苗立ち数の多少に合わせて適切な対応を図りましょう。
- ・苗立ち数が少ないと、出穂遅延や穂揃い・登熟不良の原因となりやすく、収量や品質が低下しやすくなります。苗立ちが 80 本 / ㎡未満となった場合は 3 葉期（5 月 20～30 日頃）に窒素成分で 1 kg / 10 a の追肥を行います。
- ・苗立ち数が多いと、生育中期に凋落的な生育になりやすく、倒伏も心配されます。苗立ちが 120 本 / ㎡以上となった場合は深水管理により分けつの抑制を図ります。

鶴岡田川地域（沖積砂壤土～軽埴土）の 3～5 葉期の対応

苗立ち密度	3 葉期（5/20～31）の対応	5 葉期（6/1～10）の対応
80 本 / ㎡未満	追肥（初期分けつ促進） 窒素成分で 1 kg / 10 a	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で 1.5 kg / 10 a
80～120 本 / ㎡	-	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で 1.5～2 kg / 10 a
120 本 / ㎡以上	深水管理の開始 （7/10 頃まで行う）	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で 1～1.5 kg / 10 a

湛水条播栽培の生育指標

	苗立ち期	6/10	6/20	7/1	7/10	7/20
草丈 (cm)		20	31	43	55	65
茎数 (本/㎡)	80～ 120	250～ 300	500～ 600	600～ 750	650～ 800	550～ 650
葉数 (枚)	2.5	5.5	7.5	9	10	11
葉色 (SPAD)		37	40	39～41	38～40	39
葉色 (カーブール)		4.7	5.1	5.0～5.2	4.9～5.1	5.0

### 農薬は使用基準を守って、適正使用！

農薬の使用は、使用基準を必ず守り、使用記録を記帳しよう。

適用作物、 10 a あたり使用量、希釈倍率、 使用時期、 使用回数、 収穫前日数

## 2 残った雑草対策について

- ・ 直播栽培は移植栽培に比べ、代かきから株間を葉が覆うまでの期間が長いこと等から雑草が残存しやすい傾向があります。また、近年は一発処理剤に含まれる SU 系除草成分に抵抗性を持つ雑草が見られています。このため、除草剤の効果を観察し、残存した雑草がある場合は効果のある後処理剤を使用し、次年度の除草体系についても検討しましょう。

### SU 剤抵抗性が確認されている主な水田雑草と次年度の対応

雑草名	コナギ	イヌホタルイ	アゼナ
特徴など	成長するとハート型の葉になり、8月下旬頃に紫色の花を咲かせます。根が青紫色をしています。	成長すると細長い「万能ネギ」のような形をした雑草です。良く似た雑草にクログワイがありますが、ホタルイは葉先がとんがり、葉を切断すると中味が詰まっているのに対し、クログワイの葉先は丸みがあり、切断すると葉の中が空洞になっています。また、クログワイは地下に塊茎（イモ）を作ります。	通常は中干し後にわずかに見られる程度ですが、SU 剤抵抗性アゼナが発生すると6月には条間にアゼナだけ発生しているのが観察されます。茎は四角柱状で高さ10～20cm になります。
次年度の対応例	「クロメプロップ」や「ベンゾピシクロン」を成分に含む一発処理除草剤を使用する。	「プロモブチド」を成分に含む一発処理除草剤を使用する。	「クロメプロップ」や「ペントキサゾン」を成分に含む一発処理除草剤を使用する。

### 直播栽培で使用する主な中・後期除草剤（H21 県除草剤使用基準より）

	除草剤名	使用上のポイント
中期剤 (初期剤との体系で使用)	ザーベックス DX 1キロ粒剤	イネ5葉期以降でノビエ3葉期までに使用する。 散布後の異常高温が予想される時や、処理時の平均気温16以下の場合には使用しない。
	マメット SM 1キロ粒剤	散布後の異常高温が予想される時や、処理時の平均気温17以下の場合には使用しない。 養魚池に処理水が流れ込む恐れのある水田や養魚池に隣接する水田では使用しない。
残ったノビエ 対策	クリンチャー 1キロ粒剤	1kg/10a 処理でノビエ3葉期まで、1.5kg/10a 処理でノビエ4葉期まで効果がある。 散布時に発生しているノビエにのみ有効。
	クリンチャーEW	展着剤を加用する。落水してノビエ5葉期までに散布する。 散布時に発生しているノビエにのみ有効。
	ヒエクリーン 1キロ粒剤	イネ3葉期以降でノビエ4葉期までに使用する。 土壌処理効果があり、散布後しばらく効果が持続する。
残ったノビエと 広葉雑草対策	クリンチャーバス ME 液剤	イネ5葉期以前は薬害の恐れがある。展着剤は加用しない。 落水してノビエ5葉期までに散布する。
	ヒエクリーン バサグラン粒剤	イネ3葉期以降に、ごく浅水で止め水をしてから散布し、2～3日間は入水しない。
	ワイドアタック SC	イネ6葉期以降ノビエ5葉期までに、落水して散布する。 展着剤は加用しない。晴天が持続するときに使用する。
残った 広葉雑草対策	バサグラン液剤	落水して散布する。晴天が持続するときに使用する。 散布後降雨があってもすぐに落水しない。